



大橋 博之 議員

1、健康寿命を延ばす取り組みは

Q 健康寿命とは健康上の問題がなく日常生活を普通に送れる状態を指します。2013年のわが国の健康寿命は男性が71・19歳女性が74・21歳である。健康寿命を伸ばすためには一般的に適度な運動、3度の規則正しい食事、心の健康五感を使った感動が必要だと言われている。健康

Q 健康寿命を伸ばす取り組みは
A 各分野で総合的に実施していく

Q 健康寿命を延ばすための本市の具体策を次の3点について伺う。
①適度な運動スポーツの普及のための取組は②心の健康感動を見つけれらる生涯学習のプログラムについて③生涯現役で働けるような高齢者向けの雇用対策
A 市長 ①老若男女を問わず地域や

各種団体で開催している行事と協働し健康教室を実施している②こころの健康に関する相談窓口を健康推進課に設置し対応している。住民が余暇活動を大事にし興味関心がある場づくりの情報を提供する③東松島市シルバー人材センターやハローワーク石巻との連携を強化し社会参加への推進を図る。



▲野蒜の高台では建設ラッシュだなー



菅原 節郎 議員

- 1、空き区画・空き住宅対策について
- 2、教育の諸問題について
- 3、市鳥を制定してはいかがか

Q 空き区画・空き住宅対策を示せ

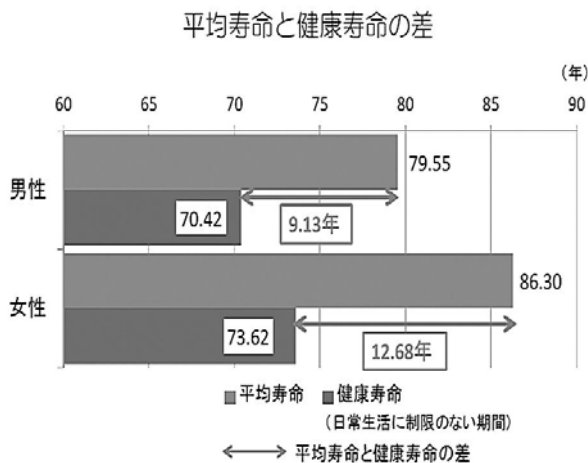
A 対象者拡大を段階的に進める

Q 5月末に野蒜北部丘陵団地（野蒜ケ丘）の第一期集団移転宅地引き渡し式が行われ、感慨深いものがあった。改めて移転対象者の辛抱と実現に尽力された関係者に敬意を表したい。今後危惧されるのは、空き宅地・空き住宅が増加するのではないかとということである。当局にお

Q しても色々対策を講じているとは思いますが、今後の見通しと対策について伺う。
A 市長 空き区画が生じた事由としては、個別移転による再建に変更する例が最も多く、次いで災害公営住宅への入居、世帯合流、被災現地での再建への変更が主なものである。追加

の申し込みもあるが、空き区画・空き住宅の解消には至っていない。今後の対策は、空き区画は宅地引き渡し後に、市内外の被災者やそれ以外の方へ、対象者拡大を段階的に進められるよう検討を始めており、国等の関係機関と協議を進め、空き区画の解消に向けて努力を続けていきたい。

平均寿命と健康寿命をみる



▲日本人の平均寿命と健康寿命の差